

～介護ロボットの導入を更にすすめて参ります～



社会福祉法人 隆生福祉会
理事長 藤本加代子

ますます進む高齢化と介護業界人材不足に備え、政府は介護ロボット導入を積極的に進める施策を次々と打ち出しています。隆生福祉会では、既にパナソニックの離床アシストベッド「リショーン」や、大和ハウス工業の免荷リフト「popo」・メンタルコミットロボット「パロ」等を導入、ご利用者様に大変喜んでいただき、また職員の負担軽減にもなっております。更に厚生労働省の助成金制度を利用し、今年度中に最新の移乗サポートロボットと見守りシステムを導入予定です。

先月より、介護ロボット開発に力を入れている企業との共同プロジェクトとして、特別養護老人ホームゆめあまみに研究チームを設けました。これは、介護ロボットを更によいものにするため、実際にご利用者様にご試用いただき、ご利用者様や職員の現場の声を届けて、改良研究に反映させるプロジェクトです。このようなプロジェクトに参加することにより、職員はモチベーションを更に高めているようです。職員が色々な経験を積み、成長していくことを願っております。高齢化先進国の日本で、これからもますます素晴らしい介護ロボットが開発されることを、期待しております。

知識を得て先々に備える
骨の勉強会を行いました

ゆめあまみ
ゆめパラティース

7月2日「かとう整形在宅クリニック」の加藤院長、7月20日 森ノ宮医療大学 横井教授をお招きし、勉強会を行いました。

今回の勉強会のテーマは職員が介護の業務中に「何もしていないのに?」「こんなことで?」と常に疑問に思っている「高齢者の方の骨折」についてです。特に女性の高齢者は骨粗鬆症を発症する方が圧倒的に多く、先々に備えて専門的に知識を学ぼうと法人で研修を実施いたしました。

「かとう整形在宅クリニック」の加藤院長からは、年齢と共に低下していく骨密度と骨粗鬆症の関係、食事療法や運動による骨密度低下を防ぐ方法等を学びました。横井教授の講義では、高齢になるとどういったことで骨折しやすいか? どのような介助の仕方が適切か? といったお話の他、関節や体の動きについてご説明いただきました。また、姿勢や体位による骨への負担軽減や骨が強くなる姿勢等を学び、参加した職員からは「骨に関する理解が増した」「ご利用者様の骨折予防に活かしたい」等の声が挙がりとても有意義な勉強会となりました。

隆生福祉会ではご利用者様の笑顔の為、高齢者の骨折だけでなく、その他の疾病等に対しても定期的に勉強会を開き、それらを日常の業務に活かすことを心掛けて参ります。



ゆめパラティース 加藤院長 勉強会の様子



ゆめあまみ 横井教授 勉強会の様子



大阪市家族介護支援事業

「認知症にはならへん！なるかな？なったらどうしよう！？」



講演風景

うめぼし体操

5月25日 大阪市立総合医療センターさくらホールにて、都島区北部地域包括支援センター主催による大阪市家族介護支援事業「認知症にはならへん！なるかな？なったらどうしよう！？」を開催しました。今年は医療センター様の広報協力により朝日新聞や読売新聞に掲載、NHK データ放送等で案内された効果もあり、当日は400名を超える参加者で大盛況でした。

<糖尿病と認知症>をテーマに医療センター糖尿病内科部長 細井 雅之先生より「糖尿病と認知症の気になる関係」、認知症看護認定看護師 堀 修様より「認知症の方との関わり方や認知症予防の生活習慣」についてご講演いただき、認知症についての理解を深めました。また、ロビーで開催した「ふれあい広場」では福祉用具の展示・体験コーナーや、医療・介護・福祉の相談ブースも多くの方に喜んでいただきました。そして、最後は参加者全員で行う恒例の「うめぼし体操」では会場全体が一つになり感動しました。

来年の5月もまた一緒に「うめぼし体操」をしましょう。お待ちしております。



「ふれあい広場」の様子

交流は更なる高みへ フィンランド視察・実習 海外交流更新調印式

2016年4月25日・26日 藤本理事長他5名がフィンランドのヴァーサで行なわれたハナコセミナーに参加しました。

今年は海外交流契約更新の年で、セミナーの後、調印式も行われました。今後、5年間の交流を更に深く実り多いものになるようにしていきたいと思えます。

視察後、保育士1名は実習の為、更に一週間滞在しました。春のフィンランド実習は今回初めての上、一人での実習参加となり緊張していましたが、多くを学び帰国しました。今回は特に、森の中の遊びを通し、数の感覚を身に付ける、というフィンランド式数あそびを体験し、ゆめ中央保育園でも早速取り入れています。



シリエ・ハッシネン氏と視察メンバー



シリエ・ハッシネン氏と藤本理事長



実習先保育園の園長と実習生



ハナコセミナーの様子

フィンランドのメソッドを活かす ゆめ中央保育園「気持ちの時間」

ゆめ中央保育園ではフィンランドから学んだ子どもたちの気持ちを知り、考え、育むメソッドを「気持ちの時間」として取り組んでいます。園児たちに実際に起こったことや例を挙げて「こんな時はいやな気持ちになった」「〇〇ちゃんがこうしてくれてうれしかった！」等をパネルを使って表現し、園児たちに考えてもらうことで、人の気持ちを思いやる時間を増やし、心の教育やいじめの防止に繋がっています。



9月21日 大阪国際交流センター(天王寺区)にて「HANAKO・隆生国際交流セミナー」開催！

9月に来日のハナコネットワーク視察団には、初めて教育・文化省からリーヒマキ・タリヤ氏が参加され、日本との交流の素晴らしさを視察に来られます。今回のセミナーでは、同氏が担当されているフィンランドの職業教育について、そして日本からは大阪滋慶学園の常務理事 橋本 勝信氏より日本の職業教育についてのお話をいただきます。

又、両国の交流成果については、隆生福祉会以外に日本のハナコパートナーの光塩学園(北海道)、龍澤学館(岩手県)鈴木学園(静岡県)からの報告も楽しくお聞きできる予定です。皆様、ぜひ足をお運び下さい。

詳細は右記お電話番号にお問合せ頂くか、TEL：06-6701-5820
ホームページにてご確認ください。

URL：<http://www.smile-yume.com/>

ゆめをつなぐ、ゆめをかなえる ゆめあまみフェスティバル

6月5日 特別養護老人ホームゆめあまみにて「ゆめをつなぐ」をテーマとして今年もゆめあまみフェスティバルを開催いたしました。ご利用者様を含め約400名の皆様が集われて、松原第五中学校による吹奏楽・男性スタッフによるダンシング・屋台（チヂミ、たこ焼き、おでん、カレーライス、アイスクリーム、カステラ、野菜）ワニワニパニックゲーム・アロマセラピー・似顔絵等を楽しまれました。メインの「ご利用者様のゆめを叶える」コーナーでは、「一生に一度でいいからウェディングドレスを着たかった」とのご利用者様のゆめを実現し感動が湧き上がりました。

このように心ときめく行事を行えるのもご利用者様・ご家族様・地域の皆様のご協力のおかげです。今後もしよろしくお願いたします。



憧れのウェディングドレス!



夢叶うチケットのプレゼント



屋台コーナー

職員によるダンス披露

8月19日 今年も更に熱く盛り上がる! サマーフェスタ 隆生福社会 親睦会



ゆめボーイ&ゆめガール



盛り上がる各テーブル



乾杯の様子

職員の親睦会が主催となり、職員同士の親睦を更に深めるイベントとして毎年恒例となっているサマーフェスタ。今年も天王寺のホテルにて行われました。会場では様々な催しが行われ、筋トレ対決や借り物競争等のミニゲーム、抽選会等で盛り上がりました。また、新入職員が初めての給料でお世話になった方へプレゼントした中で、一番感動的だったものを表彰する「親孝行で賞」、そして女性職員がサポートして男性職員をもっともっと素敵にする企画「ゆめ男前コンテスト」の2つの表彰が行われました。さらに、終盤のサプライズにはもっと介護に元気を!と結成された職員によるユニット「ゆめボーイ」「ゆめガール」のお披露目があり、その素晴らしいダンスと歌に会場は大きな熱狂に包まれました。

様々な催しを通じて、普段交流の機会が少ない職員同士が施設を越えて交流し、更に親睦を深めることができ、とても有意義な親睦会となりました。

素晴らしい音色にご利用様や園児も大満足

ピアノコンサート

8月6日 ゆめ中央保育園、8月7日 ゆめパラティースで恒例の真理子・泉・ショヴィーノさんによるピアノコンサートが開催されました。

ゆめ中央保育園では「母と子で楽しめるコンサート」と銘打ち、園児やその保護者を対象として園児が楽しめる童謡やパッヘルベルのカノン等、ポピュラーなクラシック曲をトークを交えながら演奏されました。また、ゆめパラティースでは92歳になる真理子さんのお父様もサプライズゲストとして参加され、素敵なお歌を披露していただきました。その後はご利用様に「浜辺の歌」や「故郷」等をピアノに合わせて合唱していただき、音楽の持つ楽しさを感じていただきました。



ゆめパラティースにて



真理子さんとお父様のコラボ演奏



ご利用様と



園児と笑顔でお話する真理子さん



ゆめ中央保育園にて

～ご利用様様の夢を叶えるプロジェクト～ 発表イベント「介護の未来」参加

7月17日 大阪社会福祉指導センターにおいて、大阪保健福祉専門学校主催、大阪府社会福祉協議会・大阪福祉人材支援センター協力のもと、介護の魅力をもっと知るためのイベント「介護の未来」が開催され、学校や介護施設等の取り組み等が発表されました。

隆生福祉会は、介護施設からの取り組み～利用者様の夢を叶えるプロジェクト～部門において、ご利用様様の「甲子園に行きたい」との夢を叶える企画を発表させていただきました。企画したきっかけ、計画・実施・評価や当日の様子もムービーで編集し、職員の企画力やご利用様様の笑顔の様子等が伝わるよう工夫し発表しました。他施設の発表も興味深いものばかりでした。



今回のイベントを通じて、介護業界を目指す学生の情熱や現場の取り組みの深さ等を知ることができ、改めて介護の魅力共有する場となりました。



地域の皆様に法人を知って頂く ☆ ★ ☆ ☆ ゆめトータルケア見学会

4月22日 ケアマネジャー様対象、5月28日 ご家族様対象に、施設見学会『ゆめトータルケア見学会』を開催しました。特別養護老人ホームゆめあまみ、グループホーム・デイサービスセンターゆめ長居公園、ヘルパーステーションゆめ中野、隆生福祉会の取り組みを地域の皆様に知っていただきました。



4月22日の見学会の後には、隆生福祉会の誇る「料膳ゆめ」をケアマネジャー様にご提供。「とても美味しかった」「見た目だけでなく、高齢者にも食べやすいように工夫されていて心遣いが感じられる。」と高評価をいただきました。これからも、地域福祉を支える取り組みをおこなっていくよう努めて参ります。



熱意のこもった研究！ 「いい会社研究会」法人説明・施設見学

5月25日「いい会社研究会」の皆様がお越しになられ、ゆめパラティース、ゆめ中央保育園の施設見学をされました。ゆめパラティースでは法人の説明をさせていただいた後、施設内を熱心に見学され、多くの気になった点を1つ1つ質問される等、熱意溢れる見学となりました。



ゆめパラティース花壇 ガーデニングコンテスト表彰式



尼崎市市政100周年記念の今年、「2016春の花と緑のフェスティバル」が4月29日に尼崎市の上坂部西公園にて盛大に開催されました。ゆめパラティースでは、施設玄関の花壇をご家族様、地域のボランティアの皆様がいつも心を込めて手入れしてくださっており、ご利用様、地域の皆様、職員が心癒されています。

今回その素晴らしい花壇を皆様にも知っていただき、町の美化や景観の向上と心にやすらぎを与えたいとの思いで「春の花と緑のガーデニングコンテスト」に応募しました。

厳正な審査の結果、ゆめパラティースは「デビュー賞」を受賞することができ、尼崎市 稲村 和美市長、岩田 強 緑化公園協会理事長より表彰状と記念品をいただきました。

いつもお話をさせていただいています皆様、本当にありがとうございます。

熊本地震によせて… 義援金報告

このたびの熊本地震において、隆生福祉会では少しでも被災地のお役に立ちたいと思い、職員・ご利用様・ご家族の皆様にご協力いただき募金活動を実施いたしました。そして、集めさせていただいた義援金を大阪市老人福祉施設連盟、兵庫県老人福祉事業協会、一般社団法人大阪市私立保育園連盟を通じ合計173,092円寄付させていただきました。被災者の皆様に少しでもお気持ちが届けばと思っております。